



東 哲雄 議員

水田の利活用図れ

町長/団地化は今後検討



▲水田とビニールハウス
(ホタルの里付近)

東 水田は湿田が多く、汎用化できない。水田の利用条件整備をどう進めるのか。生産性の高い作物振興の取り組みについては、

町長 暗渠排水等の整備率は、圃場整備で65%です。町単独土地改良事業で対応しますが、集団的に意欲ある取り組みを期待しています。団地化は、今後の検討課題です。作物振興と所得対策は、需要に応じた米の計画生産と振興作物で所得向上に努めたい。



▲水田隣の里芋（二ツ木地区）

若者の定住促進の施策は

町長/重要な課題と考える



川口 憲男 議員

川口 少子化が進むなかで、若者の定住は人口減の歯止めとなる。地域発展に若者の力が必要と考えるが、定住促進の施策の考えは、

町長 若者が定住する町づくりは、地域活性化にも大変重要な課題であります。若者の定住は、就業の場の確保が第一であります。町の施策は勿論のこと、企業誘致においても県と連携を図り、更なる努力を傾注していきます。



▲日本特殊陶業



▲定住促進求名住宅団地